

数学学習進度チェック表（夏休み～）

時期	2 週間	2-3 週間	1 ヶ月	1 ヶ月
ステージ	1.Seeing	2.Sensing	3.Crystallizing	4.Prototyping
1.作業内容	■基本的な内容の確認	■実践的な問題	■入試対策問題集（標準レベル）	■入試対策問題集（ハイレベル）
教材など	教科書（例・問い）	教科書（章末問題）	市販の問題集	市販の問題集
ポイント	解説を丁寧に読んだ後、例・問いを確認。数学が苦手なら「問い」に取り組む。そうでなければ確認のみでOK。基本的な計算が弱い（スピードが遅い）場合はドリル問題も継続的に取り組むこと。	教科書の章末問題に取り組み、スムーズに解けるかどうか確認。スムーズに解けなかった問題の処理は「確認問題」と同じ。ただし、翌日に解き直すだけでなく、2周目にも挑戦。		同左 ミスのパターン、正誤に関わらず解くときに迷った問題は、解法をノートに書き留めておく。（下記参照） その上で、翌日再挑戦。
2.作業内容	■解き方の確認	■弱点の克服（テーマ補強）	全範囲を【基礎問題】⇒【標準問題】⇒【実践問題】の順で解いていく。スムーズに全問完全正解するまで。弱い部分があれば、ノートに丁寧にまとめる。	
教材など	教科書（確認問題）	テーマ別教材（薄めのもの）		A.スムーズに解けて正解。 B.ちょっと悩んだが正解。 C.悩んだ上で不正解。 D.スムーズに解いて不正解。 E.分からない。 解いた問題がA-Eのどれに該当するか問題ごとに記録。 A以外は2周目以降にもチャレンジ。
ポイント	ノートに丁寧に解き、スムーズに解き方が浮かび、解き進められるか確認。解き方がスムーズに浮かばない、解いていて行き詰まる、間違えたという場合には、ノートに正しい解法を書き留める。翌日に必ず解き直すこと。	確認問題・章末問題で弱いと感じたテーマに関する、薄めの問題集を用意し2周取り組む。		